

部活動感染防止対策チェックリスト

学校 部 感染対策責任者：

✓	感染防止対策責任者がチェックする項目	令和 年 月 日 ()
	<p>【感染者が確認されている学校】 感染者が確認されていない場合はチェック⇒□</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や部活動での広がり懸念されないと学校医等の助言を受けており、感染者や濃厚接触者が所属する部活動ではない。 ・感染者や濃厚接触者が確認されていても、部活動での広がり懸念されないと学校医等の助言を受けている。 ・クラスターが発生している場合 保健所等の助言により、当該部活動に感染拡大の影響がないことを確認し、校内の感染防止体制や対策の検証・改善が図られている。 	
	<p>1 参加者について OBや保護者等を参加させる場合には健康チェックを行い、連絡先を把握している。</p>	
	<p>2 検温について 活動前に、活動場所において参加者全員に検温を実施し、顧問が点検し発熱者(37℃以上)がないことを確認している。平熱より高い者がいる場合はその理由を確認している。 ※発熱者等がいる場合は帰宅させ、医療機関を受診させること。</p>	
	<p>3 健康観察について 活動前に、活動場所で参加者全員の健康観察を行い、風邪症状等をはじめ、腹痛や下痢、倦怠感など体調に変化がある者がいないことを確認している。特に、オミクロン株の特性を踏まえ、発熱はなくとも、咽頭痛(のどの痛み)、鼻汁などの症状がある者がいないか、また、花粉症による鼻汁との区別が付きにくい場合もあることから、花粉症の疑いがないか、確認を強化している。 ※軽度の体調変化を見逃さず、以上のような症状がある者は帰宅させ、医療機関を受診させること。</p>	
	<p>4 複数の参加者に症状がある場合 活動前に、複数の参加者に風邪症状等がみられる場合は、活動中止等の措置を取る。</p>	
	<p>5 参加者の家族について 参加者の家族に感染者、感染の疑いがある者、風邪症状や花粉症の症状等がみられる者がいないことを確認している。併せて家庭に対しても協力を依頼している。</p>	
	<p>6 マスク着用について プレー中以外はマスクを着用した活動とし、気温の上昇等により健康被害が懸念される場合等、マスクを外す際は、会話を控え、身体的距離を十分確保し、換気を徹底している。</p>	
	<p>7 体育館等、屋内の同一場所で複数の部活動が活動する場合について 部活動に係るクラスター発生状況等を踏まえ、活動場所での密集対策(応援等、直接プレーに関わらない生徒等の制限)、常時換気(サーキュレーターの積極活用)、常時換気が難しい場合は30分に1回程度の換気徹底、更衣室の時間差利用、マスクを外した状態での会話・声援の禁止等に、特に留意している。</p>	
	<p>8 飲食について 生徒等に、飲食(水分補給含む)をさせる場合は特に注意し、マスクを外して会話をしないことや十分な間隔をとって同じ方向を向くことなどについて指導している。</p>	

	<p>9 下校時の指導について 生徒等に対し、下校時のマスク着用は不要であるものの、会話する際等にはすぐに着用できるように常にマスクを携帯することを指導している。 部活動前後の集団での飲食は控え、部活動終了後は速やかに帰宅するよう指導している。</p>
	<p>10 部室や更衣室の利用について 生徒等に対し、やむを得ず部室、更衣室、ロッカールーム等の共用エリアを使用させる場合には、可能な限り換気するとともに、短時間の利用とし、一斉に利用することは避け、時間差及び短時間の利用、身体的距離の確保、会話の制限を行うよう指導している。</p>
	<p>11 練習試合等の他校等との交流について 参加校同士で検温状況など本チェックリストに示す感染防止対策の実施状況をクロスチェックしている。</p>
	<p>12 県外の学校等と交流を行う場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医等の助言を踏まえた感染防止対策を作成・実行している。 ・往来前にPCR検査や新型コロナ抗原検査キットを使用した検査を実施している。 (往来後の検査予定日： 月 日) ・本チェックリストに示す感染防止対策の実施状況をクロスチェックしている。 ・更衣室の時間差利用や同一控室の利用回避を行っている。 ・更衣室等については短時間の利用としている。 ・宿泊を伴う場合は、シングルルーム対応としたり定員より少ない人数での利用としたりするなどの対応を行っている。

※本チェックリストに掲げる項目は、活動開始前にチェックを行うとともに、活動中も対策を徹底すること。